

平成31年度(令和元年度)地方創生関連事業の実績報告及び効果検証について

● 志布志市まち・ひと・しごと ころざし創生戦略プロジェクト事業

事業効果からみる本市の地方創生における取組状況について(分析結果)

事業効果	事業数(件)				割合(%)			
	H28	H29	H30	H31(R1)	H28	H29	H30	H31(R1)
A	40	28	23	13	23.3	16.3	13.4	7.6
B	7	24	27	16	4.1	14.0	15.7	9.3
C	97	77	73	92	56.4	44.8	42.4	53.5
D	0	2	4	0	0.0	1.2	2.3	0.0
E	19	16	13	16	11.0	9.3	7.6	9.3
F	7	18	28	33	4.1	10.5	16.3	19.2
G	2	7	4	2	1.2	4.1	2.3	1.2
計	172	172	172	172	100.0	100.0	100.0	100.0

「A 地方創生に非常に効果的であった」「B 地方創生に相当程度効果があった」「C 地方創生に効果があった」とする事業は、全体の70%程度で若干前年度より低くなっているものの、「F 事業完了」が多くなっており、戦略最終年度として事業の定着が伺える。

一方、「E 未実施(実施検討)」の事業については、基本目標1から3に掲げるプロジェクトの中に一定数みられ、既に事業実施の方法が検討されている事業もあれば、取組がこう着している等の状況が伺える。

(参考)事業効果の検証について

事業効果区分	判断の理由等
A 地方創生に非常に効果的であった	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度に目指す指標(KPI)が非常に早く達成し、市全体の地方創生に大きく貢献した。 平成31年度に目指す指標(KPI)に対し、想定よりも高い水準で推移しており、平成31年度指標達成に大いに期待できるものとなった。
B 地方創生に相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度に目指す指標(KPI)が早めに達成し、地方創生に貢献した。 平成31年度に目指す指標(KPI)に対し、相当程度(目標の7~8割程度)達成した。
C 地方創生に効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度に目指す指標(KPI)どおり達成し、地方創生に貢献した。 平成31年度に目指す指標(KPI)の達成に向けて、順調に推移している。 おおむねプロジェクトを遂行し、事業開始前よりも改善がみられた。
D 地方創生に効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> 事業は実施したが、実績値が目標を下回っており、地方創生に貢献できたとはいえない。 事業開始前よりも事態が悪化している。
E 未実施(実施検討)	<ul style="list-style-type: none"> 財政上の理由や、外部環境の変化により、事業の実施に至らなかった。 他の事業を優先するため、実施を見送った。 実施体制を検討する必要がある。
F 事業完了	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略に基づき、期間中(H27~H31)に事業を完了しており、平成31年度に目指す指標(KPI)の達成に貢献しているもの。
G その他	他の類似事業との統合など。

※ 地方創生先行型交付金申請時に内閣府が示す事業効果区分を参考にしております。